

令和2年度第1回義務教育学校校舎建設検討委員会議事録（要旨）

日時：令和2年8月27日19時～

場所：山村開発センター研修室

出席者

委員：松本佳久、後藤一則、下村敏彦、山田二郎、安達才智、小谷裕子、松永浩幸、川上誠之進、世垣光、小川明男、遠藤裕之、広瀬俊介、神庭賢一

事務局：生田教育長、砂流課長、長谷部主幹、神崎企画政策課課長補佐、三好

1. 開会

砂流教育課長

2. 教育長あいさつ

義務教育学校の新しい学びの場所となる校舎を建設するにあたり、ご意見を伺うため委員会を立ち上げました。日野町にとって唯一無二の学校です。地域にとって素晴らしい学校にしたいと考えています。子どもたちの学ぶ場として適切であること、保護者にとっても親しみやすい学校であること、先生方にとっても教育の場としてふさわしい学校、地域の方々に親しまれる学校を作るにはどんな校舎が必要なのかを考えていただきたい。既存の施設を利用しながら足りないもの、必要なものを補っていくという形になります、新しいものを立てるよりも難しい作業になるかもしれませんが、皆さんの知恵を絞っていただいてより良いものになるよう期待しています。

3. 義務教育学校校舎建設検討委員会についての説明

(1) 義務教育学校の新設及び日野町新しく設置する義務教育学校校舎建設検討委員会設置要綱について **【資料1】**

○義務教育学校新設について

義務教育学校でどういった力をつけていきたいか

- ・集団の中で多様な考え方に触れて自分の考え方をアウトプットし議論しあうことを通じて思考力、表現力、判断力を育みたい。

「集団の中で多様な考え方に触れる」というところが大きなキーワード。

- ・児童生徒が自ら課題を発見し、それを仲間とともに解決していく

「仲間とともに」というところが重要なキーワード。

- ・地域の人々や伝統文化に触れたり、探究したりする活動を通して日野町の未来を作ろうとする心を育む。「地域とのかかわり」を大切にしていきたい

○義務教育学校の建設場所

根雨小学校校地とした理由

- ・既存の学校を使用するというを前提に検討した。校地が広く平坦であり増改築しやすい。現在の校舎に接続して増築することが可能である。
- ・将来的に保育所を建設する場所の確保が可能
- ・そのほか、プールや給食センターもプラス材料となった。

○今後の日野町教育について

- ・義務教育学校をコミュニティスクールにし、地域とともにある学校づくりを大きな柱にしたい

(2) スケジュールについて

【資料2】

来年度に設計業務を実施、来年度の予算要求を12月までに行う。それまでに大まかなものを考える必要がある。

令和4年度に工事を実施、令和3年中に設計を固めておかなければ予算要求ができない。実質的な会議はそのあたりまでと思う。そのあとに細かいところなどを詰めていく必要があるかもしれないので15回まで一応入れているが、今年度3回、来年度2か月に1回くらいで開催しないと間に合わない。

令和3年度に設計を行い令和4年度に増改築工事を実施、夏季休業中や夏季休業中以外は学校と調整しながら工事を実施する。令和4年12月ごろには工事完了し、年度末に向けて引っ越しを行い令和5年4月開校を目指す。

4. 委員長、副委員長選出

委員長 下村校長、 副委員長 小谷事務主事に決定

5. 協議

(1) 校舎建設の基本構想について

【資料3】

(2) 必要となる教室数について

【資料4】

○グループによる話し合いの結果出された意見

- ・子どもたちの安全が第一、別棟なのか同一の敷地内なのかも考えなければならない。
- ・黒坂方面は全員バス通学になるので、安全に乗降できる場所を考えなければならない。また、安全に待つことができる場所も必要である
- ・家庭側のバス乗り場も大事である。中学生は現在も乗っているが、小学生が乗ることになるのでより安全に注意する必要がある。
- ・校舎と体育館の段差をどうにかできないか。
- ・グラウンドの芝生化。野球や使用方法を考えながら、例えば現根雨小学校を全面芝生化し、現日野中学校を土の状態に残すとか、現根雨小学校で野球をするなら内野部分に土を残すとか、どのような活動をするのかによって芝生化する、しないを考えていけばいい。
- ・普通教室は9クラスプラス特別支援教室などで11教室は必要。
- ・PC教室は今後児童生徒数も減少し、タブレット端末も一人一台になればそんなに台数は必要ないのではないか。
- ・図書室はもっと広さが必要。読書だけでなく学習ができるスペースがあってもよい。また、PC教室や郷土資料室との併用もできるのではないか。
- ・職員室は今のままでは狭い、廊下や放送室、玄関まで使用し広さを確保する。場所はグラウンドが一望でき、児童生徒の昇降口や来客玄関が見える今の場所がよい。
- ・校長室は来客対応や会議スペースとして使用することもあるため、ある程度の広さが必要である
- ・児童生徒が使用する更衣室が必要
- ・給食を多目的教室で食べていたが、現在は各教室で食べている。エレベーターがあると助かる。バリアフリーの観点からもエレベーターやスロープが必要。

- ・地域の方が利用できる多目的ホールが必要。可動式で椅子が収納できるようなものがあるとよい
- ・技術室、美術室、調理室など中学校にあって小学校にない教室が必要。
- ・それぞれの教室の机やいすの規格をどうするのか見当が必要。
- ・トイレは小学校のトイレを大人が使用してもそれほど違和感がないが、大人用を低学年の児童が使用するの難しい。
- ・保健室は体調が悪い児童生徒が使用する空間と養護教諭に相談したい児童生徒が利用する空間を分けることができるくらいの広さが必要。
- ・全職員が集まれる会議室が必要。
- ・備品の保管場所、資料室や倉庫が必要。

(3) 児童生徒、保護者へのアンケートの実施について 【資料5】

- ・具体的なイメージがない中でアンケートをとっても難しい。
- ・第1段階としてアンケートで考えを聞き、具体的なイメージが出た段階で再度アンケートを取るなどの意見があり、今後については事務局で整理させていただく。

(4) 今後の調査等について

- ・根雨小学校の現状を見ておく必要がある。
- ・合同又は個別で対応する。個別の場合は直接根雨小に連絡する。

(5) その他

- ・次回委員会は10月上旬の月、水、金に予定する。時間は午後7時から。
- ・次回は校舎建設の基本構想をまとめてお知らせすると、具体的にどういう風なところにどういう風な形状で増築ができるのかを検討いただく。アンケートが間に合えばそれも含めたい。
- ・部活動のことを早めに決めてもらいたい。野球部が中学校のグラウンドを使用するのかどうか。少年野球にも影響が出てくる。
- ・湖南学園の校舎配置図が見たい